



# 金婚 結婚50周年 おめでとうございます

9月1日(火)、高知新聞社・RKC高知放送などが主催する「第63回金婚夫婦祝福式典」が行われました。四万十市内の会場には7市町村から参加があり、黒潮町からは4組が出席(1組欠席)しました。

今回金婚式を迎えられたのは、1969(昭和44)年、1970(昭和45)年に結婚されたご夫婦です。50年間手を取り合って歩んできたおふたりは、この日を迎えた喜びを分かち合い、穏やかな笑顔を見せていました。



ありた みすほ まさこ  
有田 瑞穂さん・昌子さん  
(入野)



どい ただし すみよ  
土居 忠さん・澄代さん  
(浮鞭)



なかやま つぎお るりこ  
中山 次男さん・瑠璃子さん  
(入野)



わたなべ よつお きみこ  
渡邊 四夫さん・公子さん  
(入野)

※上記の方々のほか、沢田豊・君代(伊田)ご夫妻も金婚式を迎えられました。おめでとうございます。  
※写真は左からあいうえお順に掲載しています。

## まほろば Vol.7 くるしお

「まほろば」とは、素晴らしい場所・住みやすい場所という意味。まほろばな黒潮町で頑張る人や団体にスポットを当て、紹介するコーナーです(隔月掲載予定)。



読み聞かせボランティア  
松本 春子さん

「春子ばあちゃん」の愛称で子どもや先生から親しまれている松本さん。週1回、朝8時15分から15分間、田ノ口小学校で本の読み聞かせボランティアを行っています。活動を始めて10年。本を読むことだけではなく、子どもたちとのコミュニケーションを大切に、「子どもたちのおばあちゃんになれば」と活動を進めています。

本の読み聞かせの活動について教えてください

10年前から活動を始めました。以前は週3回活動していたので、長いお話を数回に分けて読んでいたりしていましたが、現在は週に1回、15分で読み切れる本を学年に合わせて選んでいます。

元々保育士をしていた経験もあり、子どもたちに読み聞かせることにも慣れていました。また、自分自身も小さい頃から本を読むことが好きで、「本を読むってこんなに素晴らしいんだ」ということを自分の持っている力を使って子どもたちに伝えられたらと思っています。

読み聞かせの本の選び方は?

この活動で一番時間をかけているのが「本選び」です。今、世間で



「自身の宝物」と話すノート

話題になっていたり、古典や民話など、子どもが自ら触れる機会が少ないものも読んであげたいなと思ったり。また、これまで自分が読んで本をノートにまとめ、子どもたちが同じ話を重ねて聞くことのないように努めています。

今はコロナの影響で暗い気持ちになりがちですが、そんな時にはできるだけ明るい内容の本を選ぶようにもしています。「今、この子どもたちに伝えたいことは何か」ということを大事にしています。



表情豊かに読み聞かせをする松本さん

この活動を通じて思うこと、また子どもたちに伝えたいことは?

私はプロの読み手ではないけれど、地域にいるおばあちゃんとして、冗談を言ったり、「ミニニケーションを取りながら活動をすることで、子どもたちのおばあちゃんになったらと思うています。毎回私の方が元気をもらっていますよ。

子どもたちには、何でもある便利な世の中だけれど、時には紙のペー지를一枚一枚めくって、物語に出会って、色々な考え方や世界に出会えるということを感じてほしい。突然本を好きになることは難しいかもしれないけれど、積み重ねていくと本と向き合い、豊かな感性や語彙力を身に付けてほしいですね。そうしたらもっと色々な感情を表現できるようになると思うから。

広報に掲載しきれない内容や取材の裏話を町公式Facebookに掲載します。裏表紙のQRコードからご確認ください。